

まゆだまづくり

少し前になりましたが、11日(火)には、みんなの健康や安全を願いつつ各学級ごとに繭玉作りをしました。米粉に水を入れてこね、食紅を加えて色づけして作る繭玉に、子供たちは興味津々。一人ひとりがそれぞれの形で作っていました。職員室でゆでてもらった繭玉を、用意したミズキの枝にみんなでさして学級の入り口に飾りました。今はどこの地域でも昔のようなどんど焼きはしなくなっているので、貴重な体験になったのではないかと思います。



お父さん 保育参加

18日(火)に第1回目のお父さん保育を開催しました。参加していただいたお父様方には、絵本の読み聞かせや園庭での体操に持久走、給食や掃除のお世話などたくさんのごをさせていただきました。最初はすこし戸惑いを見せていたお父様方も、子供たちが寄ってきていろいろ話したり活動したりするうちにすっかりなじみ、垣根もなくなったようでした。その後にご書いていただいた感想文では、「子供たちが歓迎してくれて緊張がとれた。すごく楽しかった。次の機会があったら、またぜひやりたい。」等がありました。コロナの関係で2回目以降のお父さん保育は中止になってしまいましたが、次回の開催の折には、また多くのお父さんのご参加をお待ちしています。



かるた大会

19日(水)に年少から年長までの各クラスでカルタ大会を行いました。例年は体育館に集まって対戦する学年もありますが、コロナ対策として各教室で開催しました。年長組は「上毛かるた」、年中組は「せいかつかるた」、年少組は「あいうえおかるた」と、発達に応じたカルタを使用しています。どの学級でもしっかり正座して真剣なまなざしで臨み、「ハイッ!」という元気な声が飛び交っていました。また、上の学年では同時に友達の手が重なったときに、子供たち同士で「これは〇〇ちゃんのだね」などと冷静に判断し合う姿も見られ、年齢に応じた心の育ちを大変頼もしく感じました。



ゆうびんごっこ

今、園内ではゆうびんごっこをしており、毎日各学級の子供たちからポストに毎日何十通もの手紙が投函され、学年を越えて行き交っています。ポストに投函された手紙は年長組の配送係の子が毎日各学級



級の郵便受けに配達してくれます。子供たちが一心に書いた手紙には、文字でなくても思いのこもった絵が描かれているものがたくさんあります。下学年の子からいつもお世話してくれている上学年の子にあてた手紙は感謝の気持ちがあふれ、こちらも思わず笑顔になってしまいます。